

## 文学プラザ

☎320-3354 鬼高1-1-4  
メディアパーク市川内  
開館時間=午前10時~午後5時  
休館日=月曜日(祝日の場合は翌日)、毎月最終月曜日、展示替期間、年末年始  
交通=JR本八幡駅または京成下総中山駅より徒歩約15分、京成鬼越駅から徒歩13分



### イベント

2月28日(日)まで  
小島貞二生誕90年記念  
「寄席と相撲が好き~小島貞二の世界~」  
文学鑑賞講座  
(午後2時/定員=60人、要申込電話可)  
12月10日(木)「水木洋子の人間喜劇」  
1月28日(木)「小島貞二と市川」

2月14日(日)午後2時  
講演会「父・小島貞二を語る」  
講師=小島豊美氏(小島貞二長男)/会場=メディアパーク市川2階ベルホール/定員=46人、要申し込み  
2月27日(土)午後1時30分(開場は30分前)  
小島貞二記念寄席  
会場=メディアパーク市川2階グリーンスタジオ/出演=古今亭菊之丞ほか/定員=抽選で200人  
3月12日(金)~6月27日(日)  
水木洋子生誕100年記念  
「脚本家/水木洋子と日本映画の黄金時代」(仮)



## かくまつじやく 郭沫若記念館

☎372-5400 真間5-3-19  
開館時間=午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)  
休館日=月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始  
交通=JR市川駅より徒歩20分、京成市川真間駅より徒歩16分



文学者、歴史学者、政治家として日中の架け橋となった郭沫若氏は、昭和3年から約10年間にわたって、家族と共に須和田に住んでいました。記念館は、当時の家を移築・復元したもので周囲は花いっぱい公園として整備されています。また、氏の出身地の楽山市と市川市は友好都市を締結しており、須和田公園には詩碑も建てています。

### 市川案内人の会 石田道男さん

この襖、何だと思いませんか? 裏口に通じる隠し扉なんですよ。結局使われることはなかったようですが、おそらく亡命中だったので、追っ手を恐れたのではないのでしょうか。公私共に波乱の人生でしたが、日中国交回復の立役者として活躍し、激動の歴史を生きた人物が、この市川と深い縁のあったことを知っていただければと思います。



### イベント

12月15日(火)  
「進めまちかど探検隊」第4回  
街歩きで国分地区の魅力を探検後、郭沫若記念館で、もっと街を歩きたい「アイディアブック」作成のための井戸端会議を開催。  
午後1時30分(国分台市民体育館正面玄関前集合)~3時30分  
問い合わせ=☎334-1107文化振興担当

## 芳澤ガーデンギャラリー

☎374-7687 真間5-1-18  
開館時間=午前9時~午後5時  
休館日=月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始  
交通=JR市川駅から徒歩16分、京成市川真間から徒歩12分  
※イベント内容により入館料が必要な場合があります。



芳澤月恵氏から寄贈された約1千坪の敷地に、庭を活かした、市民も利用できる3つのギャラリー、茶室が生まれました。百樹園と呼ばれる庭園には、百本あまりの樹木があり、四季それぞれに訪れる人の目を楽ませてください。

12月20日(日)まで 市川ゆかりの作家たち  
イベント 1月23日(土)~2月21日(日) 人間国宝・秋山逸生展  
3月27日(土)~5月9日(日) 米原万里展



## 水木洋子邸

八幡5-17-3  
開館時間=午前10時~午後4時  
公開日=第2・4土、日曜日(12月は第2、1月は第4の土、日曜日のみ)※団体見学の場合は公開日以外でも見学できます。事前に☎320-3354文学プラザにお問い合わせ下さい。  
交通=JR本八幡駅より徒歩15分、京成八幡駅より徒歩10分

「ひめゆりの塔」「浮雲」、大河ドラマ「龍馬が行く」などで知られる脚本家、水木洋子が暮らした家を市民サポーターの会の協力で公開しています。邸宅は生前の意思により、本人から寄贈されたもので、自筆原稿や家具、着物といったものも公開され、水木氏の温もりが感じられます。



### イベント

12月の展示テーマ  
「水木洋子 秋の実り」  
1月~3月の展示テーマ  
「水木洋子邸の新春」  
関連イベント  
いずれも午後2時~3時  
12月12日(土)  
ミニイベント「わらで作る正月飾り」  
定員=20人、文学プラザまで要申し込み  
2月27日(土)  
サポータートーク「水木洋子と人形」





# 歩いて感じよう いちかわの文化 つながる 街かどミュージアム

私たちの街には、長い時間をかけて培ってきた地域の文化があります。市では、こうした豊かな資源を「街かどミュージアム」として活用し、まち全体を美術館・博物館にしようとする市民と力を合わせています。こうした施設を中心に街を巡ることで、身のまわりにある芸術、歴史、自然が点から線、さらには面へとつながっていくことによります。

散策に役立つガイドブック、観光マップなどは、「いちかわ観光・物産案内所」をはじめ、各施設で配布しています。市では、今後も文化会館など既存の文化施設と連携して、地域の拠点づくり、ネットワークを進めていきます。ぜひ、歩いてふるさとの魅力をみつけてください。

## 東山魁夷記念館



☎333-2011 中山1-16-2  
 開館時間=午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
 休館日=月曜(祝日の場合は直後の平日)、年末年始  
 観覧料(特別展を除く)=一般500円、65歳以上400円、高校大学生250円、中学生以下無料、25人以上団体料金  
 交 通=JR下総中山駅から徒歩20分、京成中山駅から徒歩15分、京成バス「保健医療福祉センター・市営霊園行き」8分「北方」下車1分



20世紀を代表する日本画家・東山魁夷氏は、人生の大半を市川で過ごしました。「人間・東山魁夷」をテーマに、作品だけでなく、その人生を追体験できる展示を行っています。作品の方向性に大きな影響をもたらした留学先ドイツにヒントを得た、八角形の尖塔がある西洋風の建物も印象的です。

- イベント**
- 1月24日(日)まで 通常展「東山魁夷・山河歴史」
  - 12月19日(土)・20(日) 絵馬作り(冬のワークショップ) 定員=抽選で30人(各日)/参加費=500円
  - 12月24日(木) 午後6時30分～8時 東山魁夷記念館クリスマスコンサート 定員=抽選で90人/参加費=1,000円
  - 1月29日(金)～3月22日(休) 通常展「東山魁夷・冬から春へ」 主な展示作品:「萬緑新」「湖岸」

- 1月～2月(3回コース、日程未定) 鑑賞セミナー 定員=各コース抽選で20人/参加費=500円
- 2月19日(金) 午後6時30分～8時 N響のメンバーによるチェロとコントラバスの弦楽二重奏 定員=抽選で90人/参加費=1,000円

## 旧片桐邸(中山文化村)



☎379-5111 (文化振興財団) 中山3-15-8  
 開館日時=金・土・日曜日、午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) 年末年始は休館  
 交 通=JR下総中山駅から徒歩15分、京成中山駅から徒歩10分

電気卸商として成功を取めた片桐勝蔵氏が、昭和13年に別邸として建てた木造2階建ての日本家屋です。当時の中流家庭のモダンな生活をよく表しており、昭和初期の民家を公開している所は少ないため、建築の専門家も訪れます。毎月1回、サンデー・マチネー・コンサートを開催しています。(8月、12月除く)



- イベント**
- 1月31日(日) 午後2時(開場は30分前) 「春を呼ぶマンドリンコンサート」定員=先着50人/出演=プリーレン・マンドリンアンサンブル
  - 2月28日(日) 午後2時(開場は30分前) 「ギターコンサート」定員=先着50人/出演=岡本拓也(ギター)
  - 3月28日(日) 午後2時(開場は30分前) 「バイオリンとハープのコンサート」定員=先着50人/出演=sospiri

### いちかわ市民ネットワーク 剣持浩哉さん

高台に建ち、周囲が田畑だったので、当時は2階から海も望めたようです。年配の方、若い方、それぞれの世代がここに来ると懐かしさを感じるようですね。東山魁夷記念館がオープンしてから、法華経寺、中山文化村を結ぶルートができました。ぜひ、この地域を巡ってみてください。



## 清華園(中山文化村)



☎333-6147 中山4-14-1  
 開館時間=午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
 休館日=月曜日、年末年始  
 交 通=JR下総中山駅から徒歩7分、京成中山駅から徒歩3分

法華経寺参道総門近くであり、四季折々に趣を変える庭園は、地域の憩いの場として利用されています。名前は享保年間からこの地に暮らし、地域文化の発展に寄与した石井家が営んでいた文具具店と書店「清華堂」に由来します。希望者には中山地区の「文化の街かど回遊マップ」を配布していますので、お立ち寄りください。

- イベント**
- 6月・8月・10月の年3回 小島貞二記念寄席清華亭を開催。木戸銭は500円で落語協会、落語芸術協会の2ツ目が登場。詳細は広報いちかわで。

